

介護従事者確保対策事業

～八戸市の取組について～

八戸市 福祉部

介護保険課 介護事業者グループ

介護の仕事理解促進事業

令和2年市内関係団体を中心としたワーキンググループを組織し、介護についての魅力等を学生、教職員、保護者等を含めて、広く知ってもらう機会を創出する目的で介護人材確保PR冊子「gift」を作成。

令和3年度からは、「介護職」に対するネガティブなイメージを払拭し、介護職の現状を正しく理解してもらうことで、介護職を職業選択の1つとしてもらえるよう、市内の中学校・高校で出前講座を実施し、延べ111名の学生が出前講座に参加しております。

令和6年度からは、小学校も対象として事業を拡大し、実施する予定です。

＜出前講座の主な内容＞ ※学校の要望に応じてカスタマイズして実施。

(1) 介護従事者の講話

現場で働いている介護従事者に介護現場の魅力を伝えてもらう。

(2) 介護ロボット体験

(3) 介護食の試食

(4) 高齢者疑似体験

昨年度の出前講座



介護業務の革新・業務効率化事業

高齢者人口が増加し、介護人材不足の中で、介護サービスの充実が求められており、介護ロボット・ICT機器の導入・ノーリフティングについての理解を進め、介護業務の効率化により、介護サービスの質の向上を目的として実施いたします。

令和6年度4月改正により、介護保険施設等では、「**利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会**」を設置することとなっており、本事業が皆様の一助になるよう取り組んでまいります。

今年度は、令和5年4月20日から開始された「**ケアプランデータ連携システム**」についての実践例、国民健康保険団体連合会からの説明を予定しております。「ケアプランデータ連携システム」を導入する事業所を増やすことで、市全体の事業所の効率化が図られると考えております。

昨年度の研修の様子



令和5年10月10日開催（集合・web）

ノーリフティングケアの必要性について、介護ロボットの活用、ICT機器の活用について講義形式と介護ロボットのデモンストレーションを行いました。

介護支援専門員資格取得・定着支援事業

昨年度、第9期八戸市高齢者福祉計画（介護保険事業計画）策定に当たり、各種調査を実施した結果、今後高齢者が増え、介護サービスのニーズが増す一方、令和2年から令和5年の過去3年間で介護支援専門員の人数が**50人弱減少**していることが分かりました。

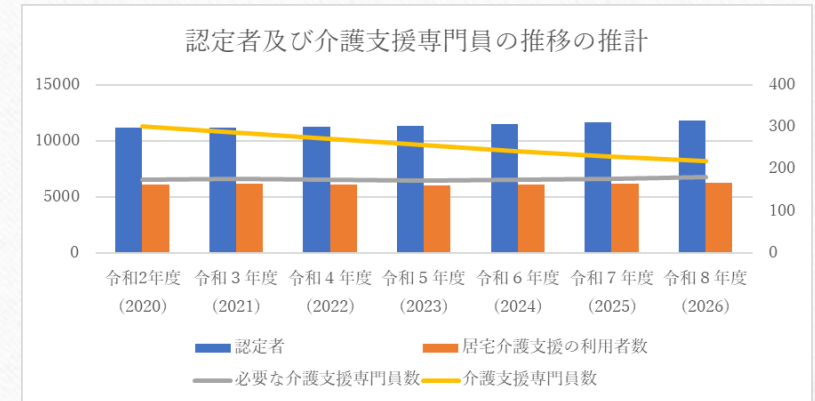
介護保険制度の要ともいえる介護支援専門員の確保・定着は、喫緊の課題であり、介護支援専門員に対する資格取得を支援する制度がないことから、受講経費負担軽減のため、市では今年度より介護支援専門員資格取得・定着支援事業を実施いたします。

本事業は、**介護支援専門員又は主任介護支援専門員の法定研修の受講料の半額を補助**します。

【対象者】

市内の居宅介護支援事業所等でケアプランを作成し、来年度以降も介護支援専門員又は主任介護支援専門員として従事する方

要介護認定者と
介護支援専門員の推計値



外国人介護人材受入施設等環境整備事業

介護人材の不足感が高まる中、外国人介護人材の需要が増えており、全国では約45,000人、市内では11事業所で29人（令和5年9月調査）が雇用されています。

一方で、介護事業者が、外国人介護人材を雇用する際、外国人介護人材と職員や利用者とのコミュニケーションを促進する取組（介護業務のマニュアルの翻訳、日本語学習に係る経費等）や生活支援（交流会の開催等）のために、経済的な負担が発生しています。

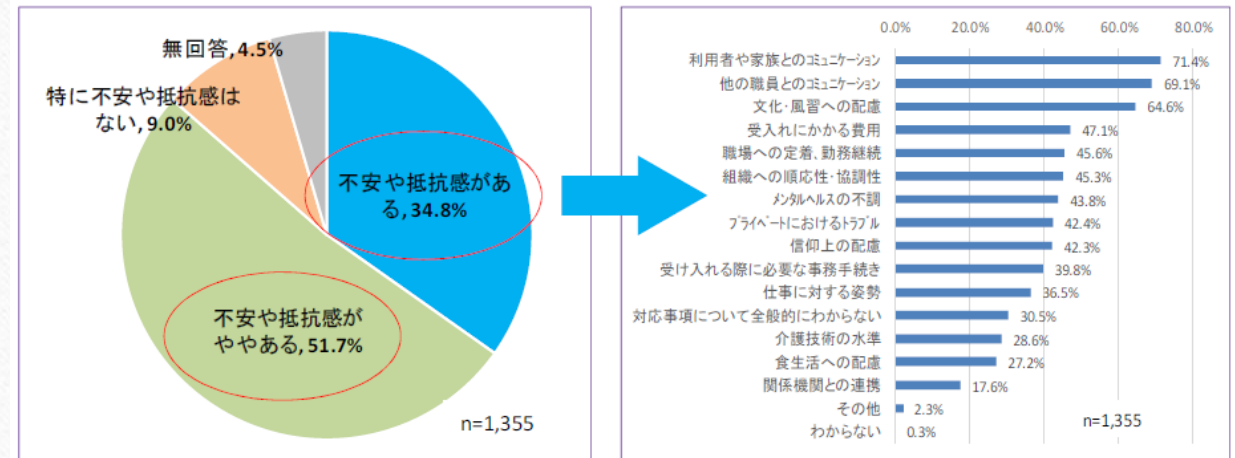
市では、今年度から外国人介護人材（経済連携協定（EPA）、外国人技能実習制度、介護福祉士養成施設の留学生、在留資格「介護」、「特定技能1号」等）を受け入れている又は受け入れ予定の事業者の取組に要する**経費の一部を補助**します。また、外国人介護人材に関する施設からの**相談窓口を設置、交流会等**を企画する予定です。

事業内容

- ① 八戸市外国人介護人材受入施設等環境整備補助金
- ② 外国人介護人材相談ヘルプデスク
- ③ 交流会、研修会の開催



外国人介護職員を受け入れることへの不安や抵抗感＜外国人介護職員を受け入れたことがない施設＞



（出典）三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社「外国人介護人材の受入れに関するアンケート調査」（平成30年10月1日時点調査）
（平成30年度厚生労働省老人保健健康増進等事業）